

平成 29 年度 大学生等による地域創生推進事業 報告書

南会津町大桃集落

+

日本大学工学部建築計画研究室

2018 年 2 月

目次

I はじめに

- 1 研究室概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 受入集落の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 活動スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

II 活動報告

- 平成 29 年度の活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - (1) 鮭川歌舞伎公演の視察・訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (2) 大桃デザイン（マーク）の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - (3) 大桃夢舞台の PR について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - (4) 大桃夢舞台の会場配置について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (5) 大桃夢舞台当日について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - 調理場・販売所
 - 会場装飾
 - 観客席
 - 義太夫席
 - お花
 - (6) 収益について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
 - (7) 集客について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
 - (8) 観客のアンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
 - (9) ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

III まとめ

- まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

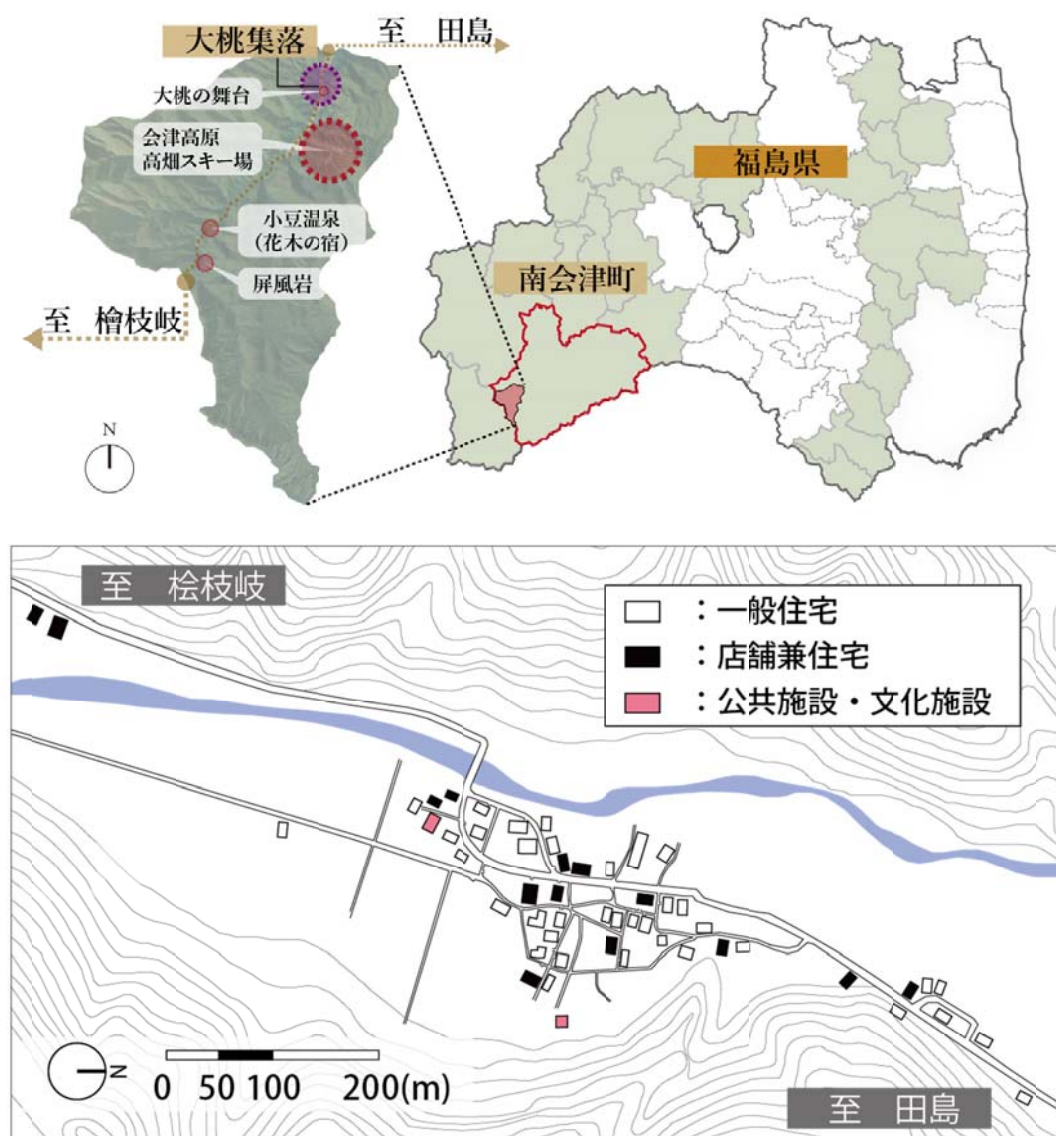
I はじめに

1 研究室概要

我がグループ（日本大学工学部建築計画研究室）は昨年度（平成 28 年度）から福島県南会津郡南会津町大桃地区と連携し「大学生等による地域創生推進事業」に加入した。今年度は 22 名のゼミ生で活動した。本年度は昨年度の実態調査等を基に、集落の資源である「大桃の舞台」に関する活動を主として実証実験を行った。なお、本事業における本研究室の人員の役割については、①フィールドワーク・集落会議に参加する人員と、②大学内でアイデアの考案、資料・模型作成する人員の 2 種類に分けて活動を行った。

2 受入集落の概要

本事業で提携する集落は、福島県南会津郡南会津町大桃地区である。当集落は南西部に位置し、50 数軒の建物が密集し集落を形成している。立地状況は山間を沼田街道（国道 352 線）と伊南川が平行に通る特徴を持つ。集落の人口状況は、平成 29 年 4 月現在で、男性 42%（56 人）、女性 58%（78 人）の計 134 人である。65 歳以上の住民が 71 名（高齢化率 53.0%）おり、集落の半数以上は高齢者である。地域資源は舞台・温泉・スキー場などを有している（図 1）。



所在： 福島県南会津郡南会津町大桃地区

図 1 大桃地区の所在・地域資源プロット図

3 活動スケジュール

表2 29年度活動内容

4月28日	会議
6月3日	第一回大桃夢舞台会議
6月11日	鮭川歌舞伎公演の視察・訪問
6月19日	研究室内大桃デザイン（マーク）の発表会
6月27日	第二回大桃夢舞台会議
7月14日	第三回大桃夢舞台会議
8月3日	大桃夢舞台前日の設営作業
8月4日	大桃夢舞台当日の設営・運営作業
8月5日	芝居公演の鑑賞
10月17日	柳橋歌舞伎公演の視察・訪問
10月22日	大桃夢舞台運営者にヒアリング
11月17日	大桃地区住民にアンケート配布
11月27日	柳橋歌舞伎保存会へ大桃夢舞台公演の依頼訪問
12月3日	大桃地区で活動報告会・ワークショップ
2月9日	福島県知事訪問
2月10日	福島県で大学生事業活動報告会

II 活動報告

1 平成 29 年度の活動について

本グループの昨年度の活動を振り返ると、メインの活動である集落調査に加えて「大桃夢舞台*」の運営・会場計画に携わり実証実験に近い動きをした。これを通して、大桃の舞台及び大桃夢舞台の価値や不足点を確認でき、さらなる活性のために「集客」、「公演の雰囲気」、「収益」の3点の向上が重要だと認識した（図2）。

去年度の集落調査及び実証実験的活動（図3,4）を踏まえて、本年度の活動は、「大桃の舞台」及び「大桃夢舞台」に着目し、運営・会場計画を見直し実行することで集落活性化の糸口を掴むことを目指した。

*大桃夢舞台：主に南会津町内やその他地域から郷土芸能の上演団体が、8月上旬頃に大桃の舞台で一斉に公演を行う行事



図2 平成 28 年の大桃夢舞台公演時風景

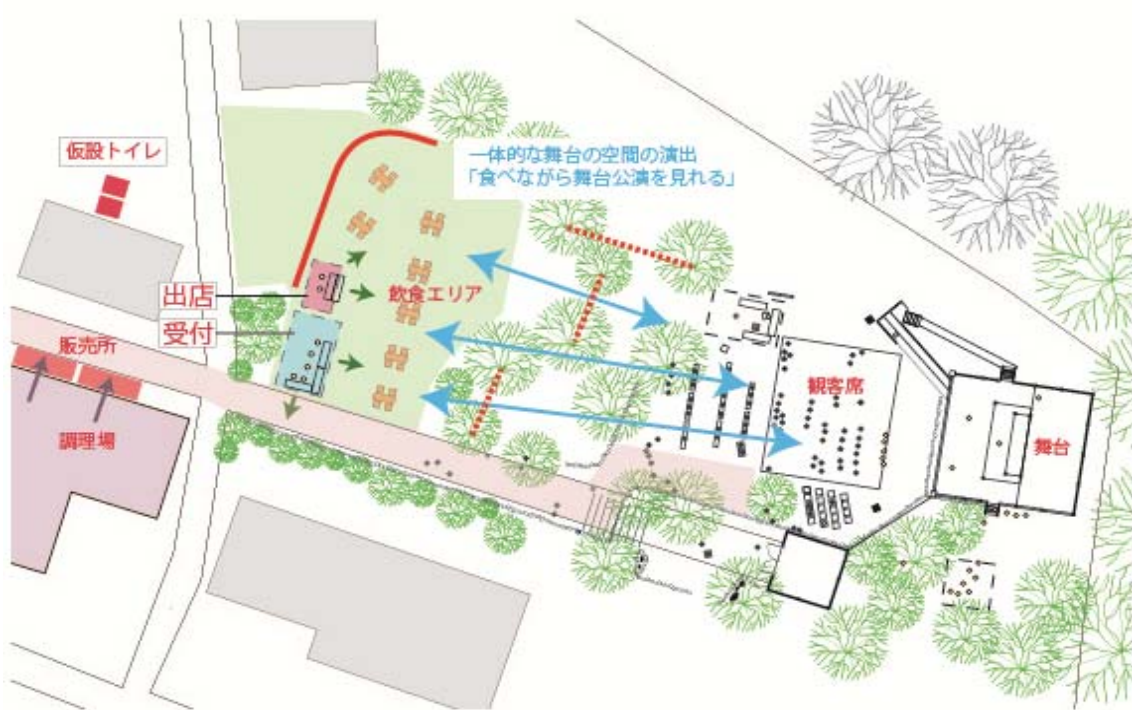


図3 平成28年度に提案した夢舞台の会場配置図



図4 平成28年度に提案した紅白幕

以下、平成 29 年度の活動を記す。

(1) 鮭川歌舞伎公演の視察・訪問

毎年、大桃夢舞台の演目は、全国でも知名度のある会津田島の素人歌舞伎「田島祇園祭屋台歌舞伎」が大桃夢舞台を盛り上げており、29年度の公演は「歌舞伎」に注力する試みをした。そこで6月11日に行われた山形県の「鮭川歌舞伎」の公演に、我々大学生・大桃区長・振興公社伊南支局の方で現地に訪れ、鑑賞及び大桃夢舞台の出演依頼を行った(図5)。結果的に、出演の承諾を頂き、大桃夢舞台の演目が歌舞伎の色濃いものとなった。それは、県をまたぎ、国指定重要無形民俗文化財の指定を受ける「田島祇園祭屋台歌舞伎」と県指定無形民俗文化財の指定を受ける鮭川歌舞伎の共演という形でもあり、素人歌舞伎という名ではあるが、双方が250年の歴史を持つ芸能が大桃の舞台で行われることとなった。

なお、両団体が記載するポスターを図6に記す。



図5 鮭川歌舞伎の公演チラシ・風景写真

大桃夢舞台

福島県南会津町

山形県指定無形民俗文化財 鮭川歌舞伎

田島祇園 鮭川歌舞伎

入場無料

2017 8月5日 土

午後1時30分開演

場所:大桃の舞台
(国指定重要有形民俗文化財) 南会津町大桃区

◆第10回公演記念 郷土芸能歌舞伎2団体が出演
「田島祇園 鮭川歌舞伎」 8日 相模風土俗の郷土山内町の民
山形県指定無形民俗文化財「鮭川歌舞伎」
賞品:
その他に地元郷土産物が扱われます。

案内図

手打ちそば 500円 (天ぷら付)

●お問合せ 大桃夢舞台実行委員会事務局(南会津町振興公社伊南支部内 0241-64-5711) | 南会津町観光情報ホームページ <http://kanko-aizu.com>

2017 伊南川沿いフォトコンテスト

伊南川沿いにある南会津町伊南～高柳地域で撮影した写真を、伊南川をはじめ自然、伝統行事、イベント、人などをテーマにした作品を募集します。
※伊南川、鮭川、天保川、川邊、高柳のまつり、大桃夢舞台、伊南川あゆまつり、高倉山、大塚山、三ツ峠、今ノスカントリースキーなど

募集締切 2018年1月26日(金)必着

賞品

- 最優秀賞(1名) 賞状と副賞(小豆湯飲花水の宮ペーパー浴巾)
- 優秀賞(2名) 賞状と副賞(地域特産品 1万円分相当)
- 賞状賞(3名) 賞状と副賞(地域特産品 5千円分相当)
- 入選賞(若干) 賞状と副賞(南会津町特産品等)
- キッズ賞(若干) 賞状と副賞(んだべグッズ 3千円相当)

応募先・お問合せ

〒943-0581 福島県南会津郡高倉山町 0241-76-2394
南会津町観光情報センター内
[2017伊南川沿いフォトコンテスト]係理
電話/0241-64-5711 FAX/0241-76-2394
HP <http://www.kanko-aizu.com/>

図6 平成29年度大桃夢舞台のポスター

(2) 大桃デザイン（マーク）の作成

鮭川歌舞伎の観賞をきっかけに、運営者が着用するハッピや座布団などに印されたシンボルマーク的なデザインを大桃集落バージョンで作成・使用したいという話が区長らとあり、当学生グループ全員でデザインの考案を行った。デザインは当研究室メンバーを4つのチームに分け、各チームで数案程度を出し、区長をはじめ大桃住民らに審査してもらい形で選出を行った。提案されたデザイン数点を図7に示す。



図7 提案された大桃デザイン（マーク）数点

なお、大桃住民らによる審査の結果、図8のデザインが好評であった。当初は座布団にこのデザインをプリントして配布する案が出ていたが、コスト面等で実現されなかったが、今年度の食べ物の包み紙で使用した（図9）。



図8 29年度に選ばれたデザイン（再編集後）



図9 デザインを使用した包み紙

(3) 大桃夢舞台の PR について

今までの大桃夢舞台における PR 活動は、主に周辺地域である南会津町内の公共施設にポスター・チラシを配布していた。本年度は配布する範囲を拡張し、県内・隣県にも配布した。また、県内新聞社に広告の申込みを行い、更に、県内のテレビ局（数件）を直接訪問し、公演時のテレビ放送のお願いをした。結果的に、新聞社では新聞に大桃夢舞台の記事を記載させていただき、県内により周知された。また、残念ながら今年の公演ではテレビ放送が叶わなかったが、平成 29 年 12 月 2 日に「福島放送」で大桃の舞台が放送された。

(4) 大桃夢舞台の会場配置について

大桃夢舞台が行われるまでの期間、区長ら含め大桃住民の方々・振興公社伊南支局の方々・我々大学生グループが集結し、夢舞台の運営・会場計画に関して合計3回の会議を大桃集落にて行った。

会議の提案内容は、先程まで述べた(1～3)の運営面に關わるものと合わせて、昨年と同様、会場配置の提案を行った。昨年度は会場全体的な配置の提案・実行のみであり、観客席・舞台周辺の提案・実行まで至っていないため、今年度は、昨年度のブラッシュアップに加えて観客席・舞台周辺について提案を行った(図10)。

今年度は住民らにも、提案が伝わりやすいように、図面や文章のみならず、模型を作成して説明を行った(図11,12)。我々は以前から図面やパース(透視図)を用いて説明を行っていたが、実物に近いものを俯瞰して見られる模型は、積極的に意見を交わすことにつながり、効果があるといえる。観客席の提案は数案ほど提出したが、今まで運営に関わってきた住民らの経験から、様々なアドバイスをいただきながら、一つの案に絞ることができた。

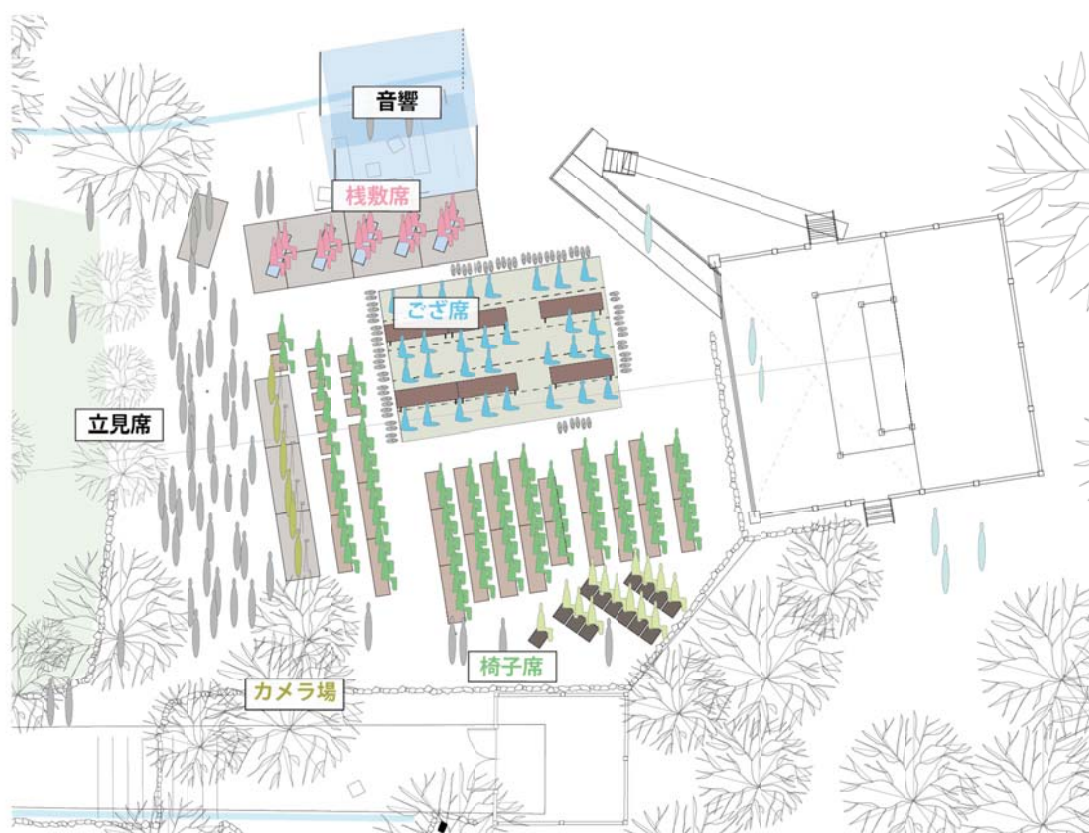


図10 提案した観客席の配置図(最終案)



図 1 1 提案の様子



図 1 2 提案に使用した模型

(5) 大桃夢舞台当日について

平成 29 年 8 月 5 日（土）に第 10 回目を迎えた大桃夢舞台が公演された。演目については表 2 に記す。大学生グループは 5 人参加し、前日の 4 日の設営作業に引き続き、5 日の設営・運営作業を手伝った。また、提案した会場配置について観客の評価を得るため、大桃夢舞台に来場した観客に対してアンケートを配布した。

表 2 29 年度大桃夢舞台演目一覧

13:00	開場
13:35	小塩神楽
13:55	青柳八木節笠踊り
14:15	鮭川歌舞伎
15:15	久川城太鼓
16:00	田島祇園祭屋台歌舞伎
17:00	閉演

以下、今年度の会場特性について記す。

飲食・販売エリアの配置図を図13に記す。昨年度と比較して、飲食席・販売の位置は大きく変化していないが、受付の位置をメインの動線とほぼ対面するように配置した。大桃夢舞台でも、歌舞伎の公演会場でよく見られる「お花」と呼ばれるご祝儀を実施している。ここでは、「お花」と引き換えに、南会津のお酒がもらえ舞台周りに「お花」をあげた人の名前・金額を載せる。強制的にお金を払わせるものではないが、「お花」の存在を明確化させることを意図した。

また、トイレの位置を飲食エリアに近い場所にして行きやすくしつつ、紅白幕で隠して雰囲気壊さないことも配慮した。

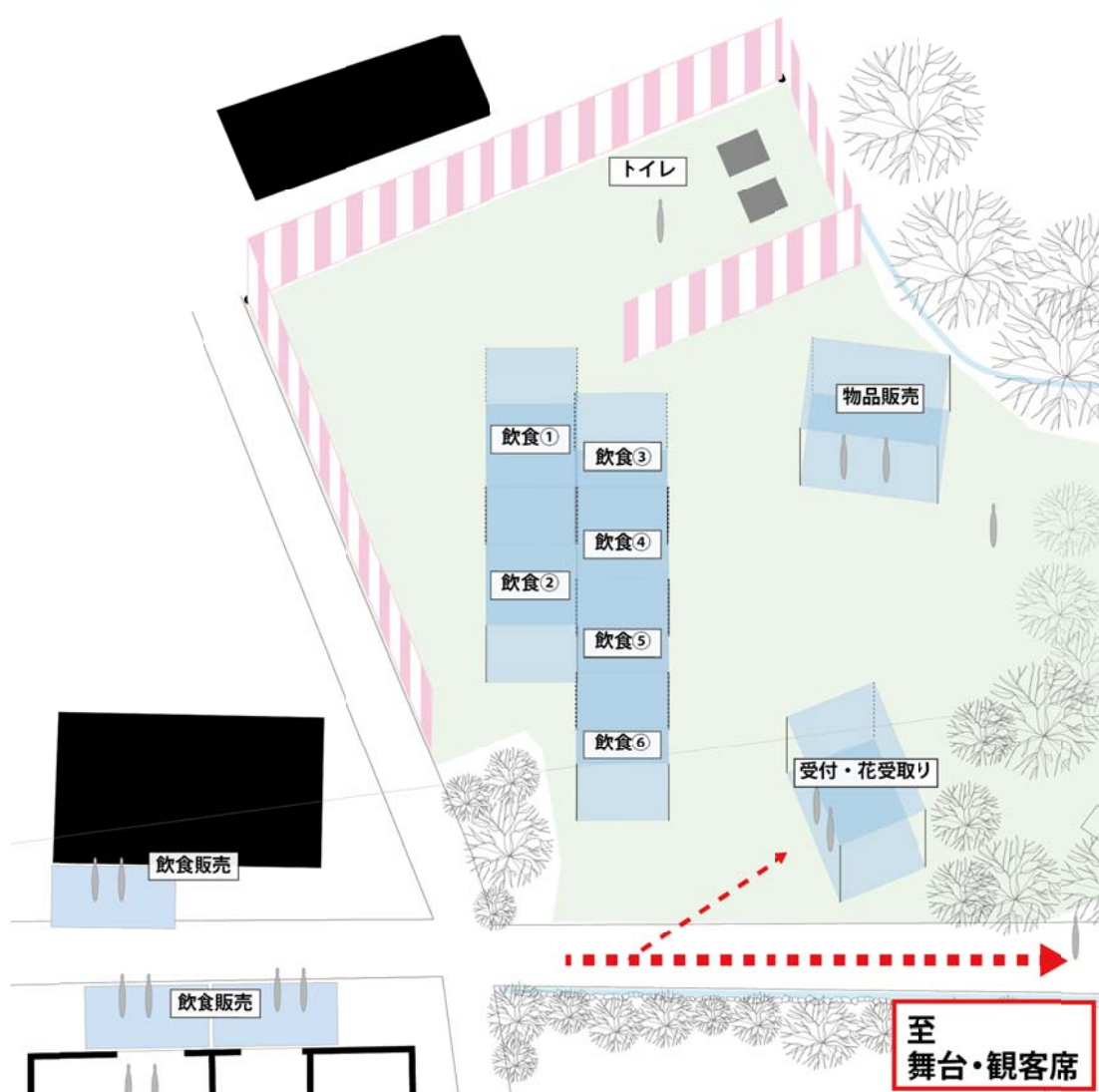


図13 飲食・販売エリアの配置図

■ 調理場・販売所

昨年度と同様、かつて民宿だった住宅の調理場の機能性を生かし、そば茹で・焼きイワナ・ばんでいもち等の調理場とした。また、その住宅の窓際に屋根・テーブルを設置して販売所とした（図14）。

また、販売所から舞台・飲食場に通じる道を一本化して人の密集度を高めた。そば・焼きイワナ等を手に持って舞台に向かって歩く観客の姿が見られ、周囲の観客もそれを見つけて販売所に向かっていったため、販売物のアピール効果につながっていた。昨年度は食べ物を運ぶ作業が困難な方がいたが、上記の住宅の居間も飲食可能にして、問題を解決した。



図14 販売所の様子

■ 舞台の装飾

舞台の花道に紅葉の木などの植物系の装飾がなされた。これは大学生グループの考案ではなく、住民の方自らが考案・実行していただいたものだ。



図15 舞台の装飾の様子

■ 観客席

昨年までの客席は前席にゴザ席、後席にイス席の配置であり、最前列に観客が座らなかった特徴がある。それは、大桃の舞台の舞台高さが約1mはあり、ゴザ席から見上げるような鑑賞スタイルは首が痛くなり好まれなかった。そのため、今年度は客席が最前列でも「見やすく・居やすく・行きやすい」配置を考慮した。まずイス席は背もたれがある分、座りやすくどの位置からでも見やすいため、イス席を例年の最前列よりも舞台に近い場所まで配置した。また、花道に近く、ダイナミックな演出が楽しめる「栈敷席」を新たに配置した。更に、ゴザ席では長机を配置し、机に寄り掛かりながら鑑賞できることで、見やすくなった。これらにより、集客率は上がり、最前列観客席を全て埋めることに成功した(図16)。



図16 観客席の様子

■ 義太夫席

毎年、大桃夢舞台の公演では義太夫の音声は録音物で代用していたが、鮭川歌舞伎の義太夫が出演されるため、大桃の舞台に義太夫席が設置された。この義太夫席は設置される機会が少なく、会場の雰囲気大きく寄与していた(図17)。



図17 義太夫席の様子

■ お花

「お花」は舞台の花道に貼られ、その総数が「お花」を寄付した数をあらわす。ここで、昨年度と本年度の「お花」の状況を比較するため、各年の写真を示す(図18)。昨年度の「お花」の量が例年と比べて少ないわけではなく、今年度が飛躍的に増えた。花道のみならず舞台にまで貼られている。



図18 昨年度(上)と本年度(下)のお花の比較

(6) 収益について

今年度の活動目標の一つである「収益の向上」について記す。なお、都合上、明確な金額を示せないが、把握できた2012年の売上げと比較して、年間の売上げの変化を示す。まず、「お花」の収益は2012年から2016年にかけて、年々増加しているものの、大きな変化はないが、2017年は飛躍的に変化し2012年の6倍の収益を得ている(図19)。次に、出店の収益を見ると、2016年から大きく変化している(図20)。これは、我々大学生グループが加わった年と同じであるが、相乗的に住民らが行う運営や販売の意識が高まっているのではないかと推察される。



図19 お花代の推移

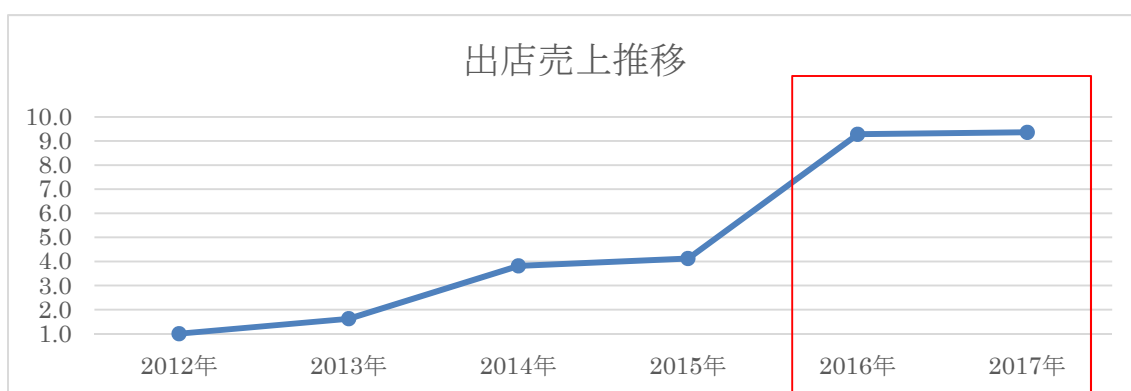


図20 出店売上の推移

(7) 集客について

今年度の活動目標の一つである「集客」について記す。観客の状況が把握できた昨年度と今年度の集客状況を比較するため、各年の観客席にいる観客をプロットした図を記す。昨年度（平成 28 年度）の客席をみると、舞台側のゴザ席にいる観客の数は少なく、空きが見える（図 2 1）。しかし、今年度（平成 29 年度）の客席をみると、ほぼ全席埋まり、また舞台の近くまで観客がいることがわかる（図 2 2）。

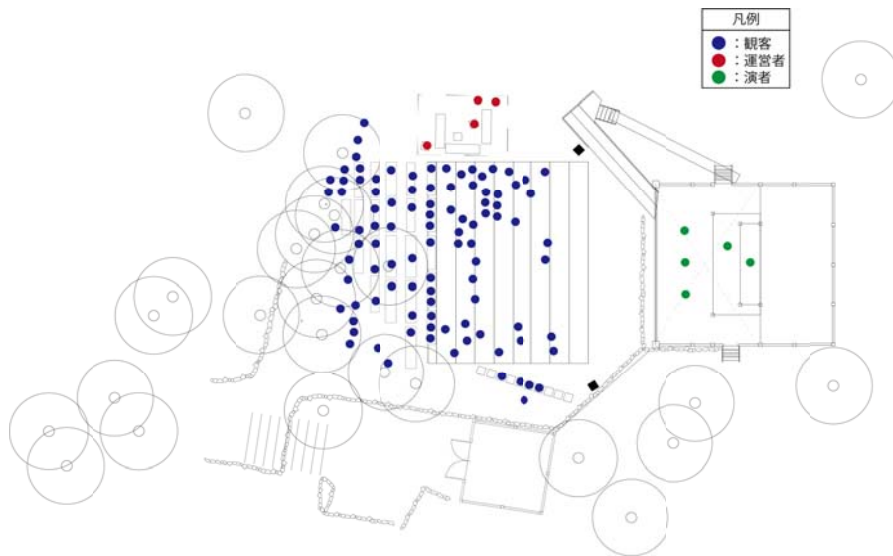


図 2 1 平成 28 年の客席プロット

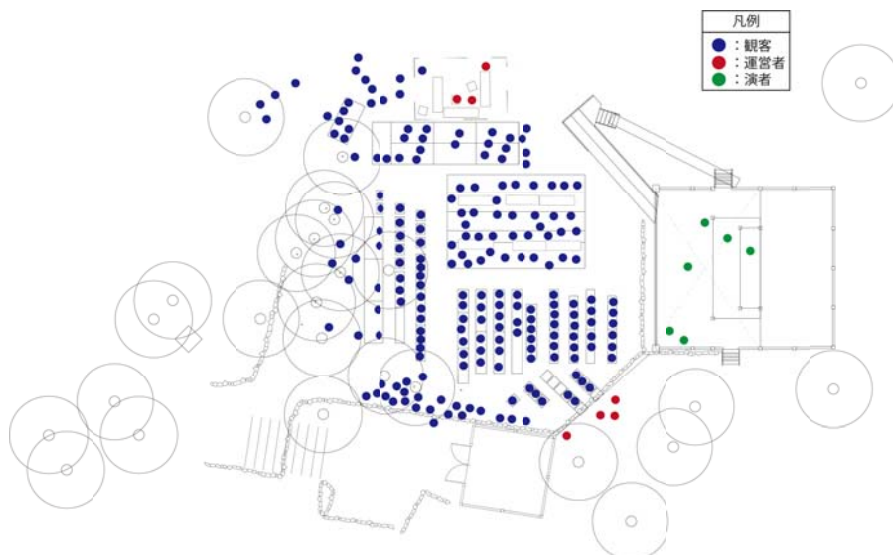


図 2 2 平成 29 年度の客席プロット

(8) 観客のアンケート結果

29年度に行われた大桃夢舞台公演に来場した観客に対するアンケートを配布し、PR活動の効果を分析し、更に会場配置に関する評価を記入していただいた。

なお、回答者の性別を表3、年齢を表4に示す。

表3 回答者の性別

回答者の性別				
	男性	女性	無回答	合計
回答数(人)	38	27	3	68
割合(%)	55.9	39.7	4.4	100.0

表4 回答者の年齢

回答者の年齢											
	~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳~	無回答	合計
回答数(人)	0	1	0	2	7	26	15	7	0	10	0
割合(%)	0.0	1.5	0	2.9	10.3	38.2	22.1	10.3	0	14.7	0

回答者の住所を表5に示す。福島県内在住の回答者割合が70%近くを占め、その中でも大桃地区在住の回答者数が多い。福島県外在住の回答者の中では、茨城県や埼玉県など関東圏在住の割合が高いことがうかがえる。また、図23より、回答者は県内の割合が多いものの、25%は県外がいることがわかる。

表5 回答者の住所

回答者の住所		
住所	回答者数（人）	
福島県内	大桃地区	30
	福島市	4
	会津若松市	5
	郡山市	1
	いわき市	1
	喜多方市	2
	田村郡	1
	河沼郡	1
	大沼郡	2
福島県外	新潟県	2
	栃木県	2
	茨城県	4
	千葉県	3
	埼玉県	5
	神奈川県	1
無回答	4	
合計	68	

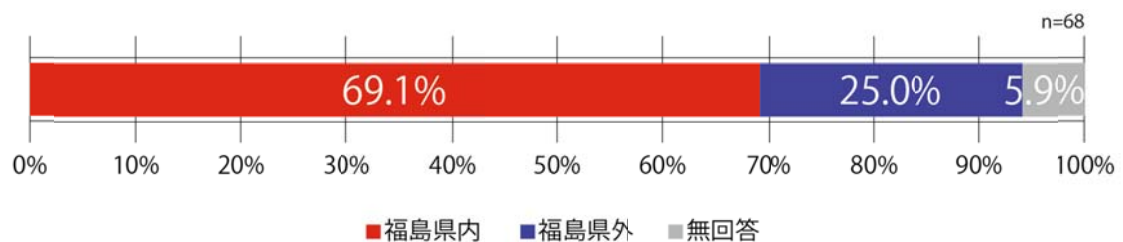


図23 回答者の県内・外出身の割合

大桃夢舞台を知ったきっかけを表6に示す。PR活動で配布したチラシによって来場した回答者が多く、チラシの効果が出ているといえる。

表6 公演を知ったきっかけ

公演を知ったきっかけ（複数回答可）		
項目	回答数	割合（%）
地域内の回覧板	10	14.7
ポスター	9	13.2
チラシ	17	25.0
新聞・ラジオ	6	8.8
テレビ	0	0
ホームページ・ブログ	6	8.8
SNS	1	1.5
家族・親戚から聞いた	11	16.2
友人・知人から聞いた	9	13.2
運営者から宣伝を聞いた	7	10.3
大桃区内にある幟旗をみて立ち寄った	3	4.4
招待状を頂いた	1	1.5
区会で知った	1	1.5
大桃住民から聞いた	2	2.9
会津のPR紙	1	1.5
イベント情報	1	1.5
埼玉開催の鮭川村イベント会場にて	1	1.5
無回答	5	7.4
合計	91	133.8
回答者数	68	100

次に、観客席に関する評価を①鑑賞しやすいか否か、②話しやすいか否か、③雰囲気が良いか否か、④席に行きやすいか否か、⑤居心地が良いか否かを5段階評価にて行った。

①鑑賞しやすいか否か

無回答を除く殆どの回答が鑑賞しやすいと回答しており、鑑賞しにくいと回答した割合は1%であった。観客席は、全体的に見やすいように計画したのだが、観客数が多くなると最後列の立ち見で鑑賞する場所が人の壁を作ってしまう、見えにくい場所となってしまう。

今後の計画の注意点として、観客席の増加が必要になると考察できる。

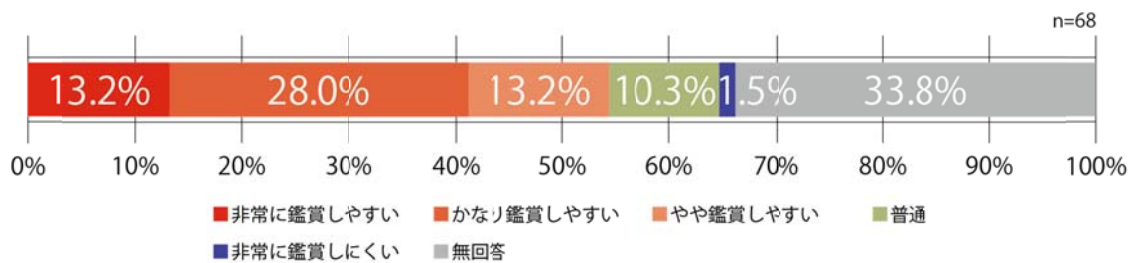


図 2 4 鑑賞しやすいか否か

②話しやすいか否か

話しやすいと回答した割合の総数で見ると 30%以上あり、観客席の操作によって、和やかな空気を作りやすいことがわかった。要因として、横並びの椅子席が多い上、ゴザ席でも、机に寄り掛かり隣の観客と話しやすいように計画したことが挙げられる。

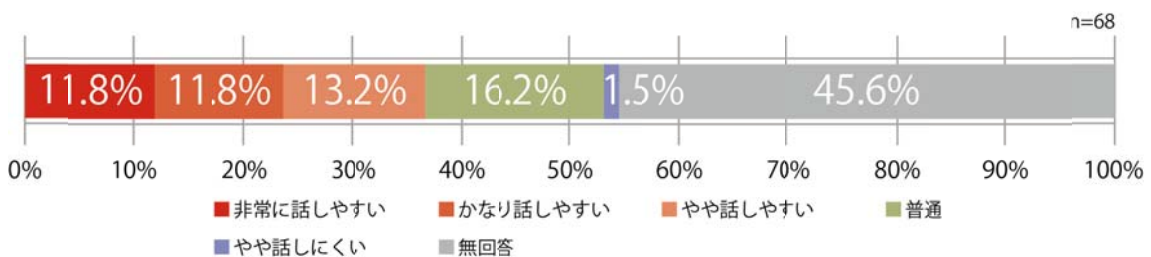


図 2 5 話しやすいか否か

③ 雰囲気が良いか否か

無回答を除く殆どの回答は雰囲気が良いと回答している。会場の構成で意識した、観客席を席の種類で段差状にした、囲われ感のある空間性が一つの要因と云えよう。

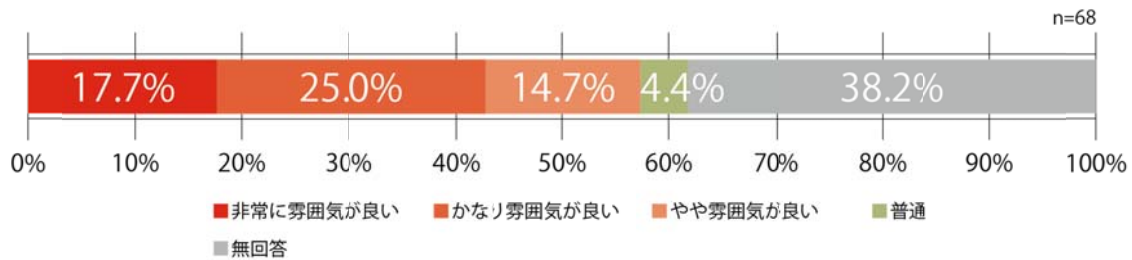


図 2 6 雰囲気が良いか否か

④ 席に行きやすいか否か

最前列や客席の中心部にまで行きやすいように、観客席全体に対して十字の通路を設け、加えて両端も通行可能な動線計画を行った。多くの回答者が行きやすいと回答。

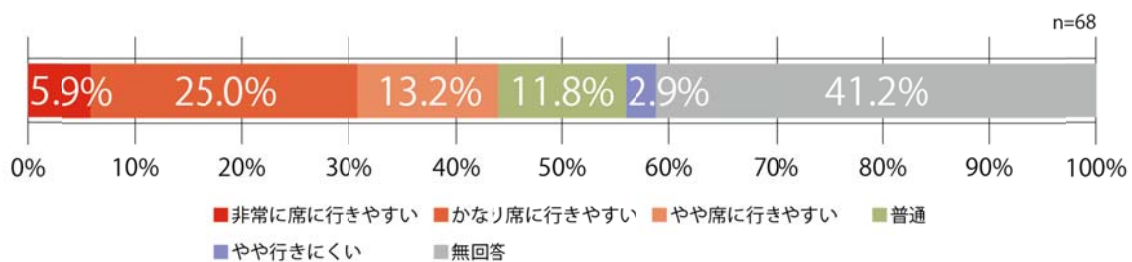


図 2 7 席に行きやすいか否か

⑤ 居心地が良いか否か

高齢者の観客が多いことを見越して、背もたれのある椅子席を多く設置し、ゴザ席では机に寄り掛かりながら座れるように配慮した。多くの回答は居心地が良いと回答。

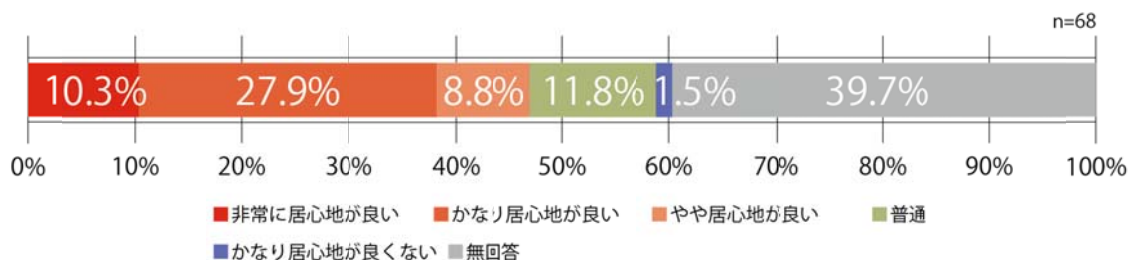


図 2 8 居心地が良いか否か

(9) ワークショップ

住民らと大桃夢舞台の反省会・ワークショップを行った(図29)。このワークショップの目的は、今年度の運営・会場設営の反省を通して、学生らのアイデアのみならず、住民らの評価・意見を引き出し、運営の意識を向上させることを意図して行ったものである。当日は住民が10人程度、振興公社伊南支局の方2人、大学生5名、有識者2名で2時間程度行った。

ワークショップは今年度の会場配置が書かれたA1用紙に意見をポストイットで貼る方法で行った。結果的に得られた意見を総合的にみると、ハード・ソフトの両面で多くの意見が出ているため、住民の積極性を引き出すことができたのではないかといえる。その際に住民からハード・ソフトの両面で得た、提案的な回答を表7、評価的な回答を表8に示す。



図29 ワークショップの様子

表7 住民の意見（提案編）

ハード	客席	音響が動けば、撮影スペースとして確保できる
		音響が動けば、照明スペースとして確保できる
		音響を神社前に配置し、客席・撮影スペースを確保する
	出店	出店を今年のトイレの配置位置に持ってきて、トイレを去年の位置に戻せば出店の数を増やせるのではないかな？
		出店が沢山できる事による賑わいを演出するためにはどうすれば良いか
	小物・小道具(装飾)	舞台両側の紅白幕の代わりに植物や花を飾るのはどうだろうか
		ススキなど色々な木を使いたい
		仮設や発電機を使えば舞台上を明るくできる
		どこでも駐車できるように住民の方々に協力してもらい、駐車できるようにする
		どこでも駐車できるように住民の方々に協力してもらい、駐車できるようにする
		雰囲気を作る為、仮装する
	舞台の配置・数	全て椅子でも良いのではないかな？

ソフト	PR	政治家に協力して貰う
		復興企画で貢献する事を報道関係者に取り上げて貰う
		ホテルでポスターを貼る
		演目の間の時間を使って売り子がモノを売っていくのはどうか
		演目の間の時間を(例えば 15 分くらい)長くできないか
		* 公演の開始時間を早めるのはどうか
		遠方からやってくる人が日帰りで帰り易くなる
		昼休憩を挟むことで昼食としての蕎麦の需要ができ、売上げが上がる
		片付けが楽である
		反省会に参加しやすい
		ミニスカートはどうか(売り子案に対して)
		ミス日大にお願いしてはどうか(売り子案に対して)
		駐車場係に仮装(鎧を着る)させ、伝統的な雰囲気を出
		貸館
	世界中の様々な太鼓演奏団体を呼ぶ	
	ジャズと和太鼓のフュージョン	
	夜ライトアップして演出したら面白いのではないか	
	大道芸人全般でも良い	

表8 住民の意見（評価編）

ハード	舞台の配置・数	花道の配置を変えるのは良い案だが、大変である
	客席	例年に比べ、今年の客席配置は良かった
		テーブルがあると、立ち上がりが楽で良い
		良い席は座る事を遠慮してしまう
		カメラの三脚がスペースをとるから撮影客用のスペースが少ない
	出店	回答なし
小物・小道具(装飾)	今年照明は使用したが暗く、鮭川歌舞伎の人にも表情が見えないと言われた	
	舞台上に照明がないため、顔が見えづらい	
ソフト	PR	関わっている人の積極的な姿勢自体がPRに繋がる
	夢舞台	10周年で話題性があった
		演目が例年にはないものであった
		歌舞伎を2本やるなら、大人歌舞伎2本ではなく子供歌舞伎も入れて欲しい
		本物をみたい人が来るから、歌舞伎は必ず入れるべき
		見ていて難しい演目ばかりでは良くないのではないか
		歌舞伎以外の演目を取り入れるべきではないか
	演目の間に堅苦しさを和らげる演出があると良い	
貸館	回答なし	

Ⅲ まとめ

平成 29 年度の活動では、昨年度の集落調査を通して把握した地域資源の「大桃の舞台」の活用に着目し、そこで行われる公演イベント「大桃夢舞台」の運営・会場計画を通して実証実験を行った。主に、「公演内容」、「PR 方法」、「会場構成」を注力して活動を行い、例年より収益・集客数を視覚的・数値的に向上させることができた。更に、公演後に住民ら含めてワークショップを行い運営の見直しを通して、ポストイットの回答数・内容より、運営の意識が高めることができた。

謝辞

本事業を行うにあたり、多大なご協力を頂いた、区長はじめ大桃地区住民の皆様と南会津町振興公社伊南支局の方々に深く御礼申し上げます。